

平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月2日

上場会社名 キリンホールディングス株式会社 上場取引所 東・大・名・札・福
 コード番号 2503 URL <http://www.kirinholdings.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 占二
 問合せ先責任者(役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 坪井 純子 (TEL) 03-5540-3455
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	497,286	1.7	25,313	△23.3	19,210	△34.6	△3,033	—
23年12月期第1四半期	488,923	10.4	32,985	38.3	29,396	42.3	△2,113	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 74,312百万円(275.3%) 23年12月期第1四半期 19,800百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	△3.15	—
23年12月期第1四半期	△2.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	2,899,672	1,100,094	31.2
23年12月期	2,854,254	1,047,895	29.9

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 906,140百万円 23年12月期 852,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	13.50	—	13.50	27.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	13.50	—	13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,060,000	5.8	62,000	△14.8	53,000	△27.0	13,000	△27.5	13.52
通期	2,230,000	7.6	162,000	13.4	140,000	2.3	48,000	548.0	49.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P5「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年12月期 1 Q	965, 000, 000株	23年12月期	965, 000, 000株
② 期末自己株式数	24年12月期 1 Q	3, 289, 589株	23年12月期	3, 268, 428株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年12月期 1 Q	961, 716, 926株	23年12月期 1 Q	961, 823, 573株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社および当グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社および当グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。

(2) 決算補足説明資料は本日5月2日 (水) に、また、本日開催の決算説明会 (電話会議) における資料・主な質疑応答については速やかに、当社ホームページに掲載いたします。

(当社ホームページURL)

<http://www.kirinholdings.co.jp/irinfo/event/explain/index.html>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成24年1月1日～平成24年3月31日）のわが国経済は、減速状態から脱していない海外経済の影響等により依然として厳しい状況にありながら、個人消費が底堅さを増しているなど、緩やかな持ち直しの動きも見られます。

このような状況の中、キリングroupでは、長期経営構想「キリン・グループ・ビジョン2015」（略称：KV2015）実現に向けた第2ステージである「2010－2012年キリングroup 中期経営計画」の最終年度として、引き続き収益性向上に向けた施策を進める一方、売上反転・拡大を目指し、ブランド力・営業力の強化とお客様への新たな価値の提案に取り組みました。

国内においては、キリンビール㈱、メルシャン㈱、キリンビバレッジ㈱が、バリューチェーン全体での構造改革を継続するとともに、商品ブランド基軸の経営による総合飲料グループ戦略を一層推進しました。

海外では、ライオン社が引き続き収益性と効率性の向上に努めるとともに、前年新たにキリングroupに加わったスキンカリオール社が新経営体制の下、業績向上に向けた施策に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期の売上高は、海外酒類・飲料事業でスキンカリオール社の損益を取り込んだことに加え、国内酒類事業や国内飲料事業において販売数量が増えたこと等により増加しましたが、営業利益、経常利益、四半期純利益については、医薬・バイオケミカル事業で化学品事業が連結除外となったことや、国内酒類事業や国内飲料事業において販売費が増加したこと等により、減少しました。

連結売上高	4,972億円（前年同期比	1.7%増）
連結営業利益	253億円（前年同期比	23.3%減）
連結経常利益	192億円（前年同期比	34.6%減）
連結第1四半期純損失	△30億円（前年同期比	— ）

セグメント別の業績は次のとおりです。

<国内酒類事業>

キリンビール㈱では、選択と集中により基盤ブランドを強化するとともに、お客様のニーズに応えた新しい価値を創造することで売上成長を目指しました。新ジャンルでは「キリン 麦のごちそう」を、RTD※では「キリンワインカクテル ワインスプリッツァ」を発売し、それぞれのカテゴリーに新たな提案を行いました。ノンアルコール・ビールテイスト飲料では、「キリン フリー」のリニューアルにより、競争力の強化を図りました。1月1日に設立したキリンビールマーケティング㈱では、よりお客様に近い視点に立った提案による課題解決型の価値営業の強化に取り組みました。これらの結果、ビール・発泡酒・新ジャンル合計及びRTDの販売数量は、東日本大震災により大きな影響を受けた前年実績を上回りました。

メルシャン㈱では、引き続き家庭用市場が伸張する中、日常的に楽しめるワインとして、「メルシャン エブリー」を発売するなどワイン市場の裾野拡大を図り、国産・輸入ともデリーワインの販売数量が前年を大幅に上回りました。

これらの結果、売上高は増加しましたが、東日本大震災の影響があった前年と比較して販売費が増加したこと等により、営業利益は減少しました。

※RTD：Ready to Drinkの略。栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料。

国内酒類事業連結売上高	1,709億円（前年同期比	0.9%増）
国内酒類事業連結営業利益	43億円（前年同期比	13.8%減）

〈国内飲料事業〉

キリンビバレッジ㈱では、継続的に収益構造改革を推進するとともに、商品力と営業力の強化を進め、成長による収益拡大の実現に向けた施策に取り組みました。

新たな炭酸飲料領域の創造に向けた提案として、「麒麟の泡」を発売したほか、「麒麟 からだ想い茶 すーっと茶」、「麒麟 生茶 緑の野菜ブレンド茶plus」を発売し、無糖茶カテゴリーの強化を図りました。また、チャネル別に価値営業・基本営業活動を推進したことで、販売数量は前年を大きく上回りました。

これらの結果、売上高は増加しましたが、東日本大震災の影響があった前年と比較して販売費が増加したこと等により、営業損失は増加しました。

国内飲料事業連結売上高	660億円（前年同期比	1.4%増）
国内飲料事業連結営業損失	△39億円（前年同期比	— ）

〈海外酒類・飲料事業〉

ライオン社では、酒類・飲料事業ともにブランド力強化を重視したマーケティングを行い、収益性と効率性の向上に努めました。豪州経済は、好調な資源産業の牽引により成長を続けているものの、食品・小売を中心とした国内消費財産業は依然厳しい事業環境下にあります。ライオン社酒類事業では、新しいカテゴリー創出の取り組みや高価格帯への商品構成シフトを引き続き進めました。主力ブランドである「フォーエックス・ゴールド」や「ジェームスボーグス・プレミアム」の販売が前年を上回ったほか、成長しているサイダー（リンゴ酒）カテゴリーに「トゥーヒーズ」ブランドから新商品を投入するなど、引き続きブランド強化を図りました。

一方、同社飲料事業では、中期的な収益性改善に向けた事業構造改革を引き続き進めました。消費者のさらなる低価格志向をはじめ厳しい市場環境が続く中、フレーバードミルク（乳飲料）「デア」やスペシャリティチーズの販売が好調に推移しました。

スキンカリオール社では、ブラジル南部を中心とした天候不順等により、酒類・飲料事業とも販売数量に影響がありましたが、新経営体制の下、基盤ブランドの強化をはじめとした収益性向上のためのマーケティング・営業活動を推進するとともに、調達プロセスの抜本的改善やバリューチェーンの機能強化等の施策を実行しました。

これらの結果、スキンカリオール社の損益取り込みとライオン社における構造改革推進により、売上高、営業利益とも増加しました。

海外酒類・飲料事業連結売上高	1,529億円（前年同期比	30.0%増）
海外酒類・飲料事業連結営業利益	65億円（前年同期比	5.2%増）

〈医薬・バイオケミカル事業〉

医薬事業では、協和発酵キリン㈱において、主力製品である腎性貧血治療剤「ネスプ」等の販売が好調に推移しましたが、花粉飛散量が少なかった影響や前年同期の東日本大震災後に一時的な出荷増があったため、抗アレルギー剤「アレロック」等の出荷が前年を下回りました。また、3月に富士フイルム株式会社とバイオシミラー医薬品の開発・製造・販売の合弁会社である協和キリン富士フイルムバイオ

ロジクス㈱を発足させました。

医薬品の輸出は堅調に推移し、また、協和キリン富士フイルムバイオロジクス㈱からの技術収入も計上しました。

研究開発においては、3月に成人T細胞白血病リンパ腫（ATL）治療剤「ポテリジオ」（独自の抗体技術を用いたヒト化モノクローナル抗体KW-0761）の承認を取得しました。

バイオケミカル事業では、協和発酵バイオ㈱において、アミノ酸・核酸関連物質を中心とする医薬・工業用原料が、円高の影響を受けたものの、アジア向けの輸出が好調に推移し、販売数量は前年を上回りました。

これらの結果、前年3月末に化学品事業を連結から除外した影響等により、売上高、営業利益とも減少しました。

医薬・バイオケミカル事業連結売上高	848億円（前年同期比	24.7%減）
医薬・バイオケミカル事業連結営業利益	187億円（前年同期比	17.4%減）

〈その他事業〉

キリン協和フーズ㈱では、前年同期の東日本大震災直後に一時的な出荷増があったため、販売数量は前年を下回りましたが、各種調味料及び食品素材を加工食品メーカー向けに展開する加工用事業を主力事業として価値提案型営業・開発体制の整備・強化を進めました。

その他事業全体としては、主にキリン協和フーズ㈱の販売数量減の影響により、売上高、営業利益とも減少しました。

その他事業連結売上高	224億円（前年同期比	6.4%減）
その他事業連結営業利益	4億円（前年同期比	70.7%減）

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金、有形固定資産等が減少したものの、現金及び預金、無形固定資産、投資有価証券等の増加により、前連結会計年度末に比べ454億円増加して2兆8,996億円となりました。

負債は、有利子負債等が増加したものの、未払酒税、未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ67億円減少して1兆7,995億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ521億円増加して1兆1,000億円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績見通しについては、平成24年2月10日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,218	84,276
受取手形及び売掛金	406,448	380,484
商品及び製品	112,986	128,183
仕掛品	30,937	33,636
原材料及び貯蔵品	49,059	46,118
その他	88,664	89,779
貸倒引当金	△6,250	△6,754
流動資産合計	758,065	755,723
固定資産		
有形固定資産	763,833	762,665
無形固定資産		
のれん	713,749	740,654
その他	102,511	104,973
無形固定資産合計	816,261	845,628
投資その他の資産		
投資有価証券	417,619	436,098
その他	105,156	106,091
貸倒引当金	△6,681	△6,534
投資その他の資産合計	516,094	535,655
固定資産合計	2,096,189	2,143,948
資産合計	2,854,254	2,899,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	146,955	138,878
短期借入金	85,517	79,239
コマーシャル・ペーパー	121,989	155,986
1年内償還予定の社債	23,111	103,095
未払法人税等	26,783	13,647
引当金	7,549	14,920
その他	303,512	259,301
流動負債合計	715,419	765,070
固定負債		
社債	365,487	285,435
長期借入金	468,999	489,135
退職給付引当金	65,516	62,284
その他の引当金	29,458	32,088
その他	161,478	165,564
固定負債合計	1,090,939	1,034,507
負債合計	1,806,359	1,799,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	102,045	102,045
資本剰余金	81,417	81,417
利益剰余金	801,856	786,252
自己株式	△3,271	△3,291
株主資本合計	982,048	966,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,116	23,887
繰延ヘッジ損益	△279	△617
土地再評価差額金	△2,543	△2,543
為替換算調整勘定	△137,419	△81,010
その他の包括利益累計額合計	△129,126	△60,283
新株予約権	250	129
少数株主持分	194,722	193,824
純資産合計	1,047,895	1,100,094
負債純資産合計	2,854,254	2,899,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年 1月 1日 至 平成23年 3月 31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年 1月 1日 至 平成24年 3月 31日)
売上高	488,923	497,286
売上原価	292,515	290,541
売上総利益	196,408	206,744
販売費及び一般管理費	163,422	181,431
営業利益	32,985	25,313
営業外収益		
受取利息	122	527
受取配当金	1,951	529
為替差益	679	1,673
その他	902	1,886
営業外収益合計	3,656	4,617
営業外費用		
支払利息	5,361	5,219
持分法による投資損失	421	2,894
その他	1,462	2,605
営業外費用合計	7,245	10,719
経常利益	29,396	19,210
特別利益		
固定資産売却益	3,911	593
投資有価証券売却益	261	14
関係会社株式売却益	6,771	—
その他	1,052	51
特別利益合計	11,995	659
特別損失		
固定資産除却損	439	419
固定資産売却損	179	123
投資有価証券評価損	1,928	1
投資有価証券売却損	—	324
事業整理損失引当金繰入額	3,555	—
東日本大震災関連損失	5,146	—
事業構造改善費用	892	950
その他	2,978	138
特別損失合計	15,119	1,957
税金等調整前四半期純利益	26,272	17,913
法人税等	21,682	15,600
少数株主損益調整前四半期純利益	4,590	2,312
少数株主利益	6,703	5,345
四半期純損失 (△)	△2,113	△3,033

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,590	2,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101	13,252
繰延ヘッジ損益	171	△368
為替換算調整勘定	14,517	55,287
持分法適用会社に対する持分相当額	419	3,829
その他の包括利益合計	15,210	72,000
四半期包括利益	19,800	74,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,678	65,809
少数株主に係る四半期包括利益	7,122	8,503

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内酒類・飲料		海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル			
	国内酒類	国内飲料					
売上高							
外部顧客への売上高	169,385	65,157	117,675	112,672	24,032	－	488,923
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,588	1,274	142	2,189	7,619	△18,813	－
計	176,974	66,431	117,817	114,862	31,651	△18,813	488,923
セグメント 利益又は損失 (△)	5,078	△1,997	6,271	22,654	1,577	△599	32,985

(注) 1 「その他」の区分は、調味料などの食品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△599百万円には、セグメント間取引消去4,105百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,705百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用及び当社の基礎技術の研究開発費であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内酒類・飲料		海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル			
	国内酒類	国内飲料					
売上高							
外部顧客への売上高	170,963	66,038	152,919	84,866	22,499	－	497,286
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,562	234	265	2,244	5,855	△16,163	－
計	178,526	66,272	153,185	87,111	28,354	△16,163	497,286
セグメント 利益又は損失 (△)	4,377	△3,905	6,595	18,709	462	△926	25,313

(注) 1 「その他」の区分は、調味料などの食品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△926百万円には、セグメント間取引消去4,021百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,947百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用及び当社の基礎技術の研究開発費であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2012年第1四半期決算 補足説明資料

1. 連結損益計算書サマリー・指標等
2. 売上高明細
3. 利益増減明細
4. 連結貸借対照表サマリー
5. その他情報

キリンホールディングス株式会社
2012年5月2日

1. 連結損益計算書サマリー・指標等

(1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2012年 第1四半期 (実績)	2011年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	4,972	4,889	83	1.7%
売上総利益	2,067	1,964	103	5.3%
販売費及び一般管理費	1,814	1,634	180	11.0%
営業利益	253	329	△76	△23.3%
営業外収益	46	36	9	26.3%
営業外費用	107	72	34	47.9%
経常利益	192	293	△101	△34.6%
特別利益	6	119	△113	△94.5%
特別損失	19	151	△131	△87.1%
税金等調整前四半期純利益	179	262	△83	△31.8%
法人税等	156	216	△60	△28.0%
少数株主利益	53	67	△13	△20.3%
四半期純損失(△)	△30	△21	△9	—
EBITDA ※	563	633	△70	△11.1%

※ EBITDA = 営業利益 + 持分法による投資損益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 特別損益

		2012年 第1四半期 (実績)	2011年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	酒税抜き	4,335億円	4,272億円	63億円	1.5%
営業利益	のれん等償却前	382億円	436億円	△54億円	△12.4%
営業利益率					
	対酒税抜き・のれん等償却前	8.8%	10.2%		
	対酒税抜き・のれん等償却後	5.8%	7.7%		
海外比率	酒税抜き売上高	40.1%	34.0%		
D/E レシオ		1.23	0.93		

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

(単位：円)

	2012年 第1四半期 (実績)	2011年 第1四半期 (実績)
ライオン (豪ドル)	80.18	81.20
スキンカリオール (ブラジルレアル)	45.42	※1 —
サンミゲルビール (フィリピンペソ)	1.81	1.90
フレイザー・アンド・ニーヴ (シンガポールドル)	60.89	※2 —

	2012年第1四半期 (実績)	2011年第1四半期 (実績)
ライオン	2011年10月～2011年12月	2010年10月～2010年12月
サンミゲルビール		
フレイザー・アンド・ニーヴ		
		— ※2

※1 2012年第1四半期より取込

※2 2011年第2四半期より取込

2. 売上高明細

(単位：億円)

	2012年 第1四半期 (実績)	2011年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	4,972	4,889	83	1.7%
国内酒類	1,709	1,693	15	0.9%
麒麟ビール ※	1,503	1,479	24	1.6%
メルシャン	154	164	△10	△6.2%
その他・内部取引消去	51	49	1	3.8%
国内飲料	660	651	8	1.4%
麒麟ビバレッジ	662	664	△1	△0.2%
その他・内部取引消去	△2	△12	10	—
海外酒類・飲料	1,529	1,176	352	30.0%
ライオン	1,070	1,112	△41	△3.8%
スキンカリオール	382	—	382	—
その他・内部取引消去	76	64	11	17.6%
医薬・バイオケミカル	848	1,126	△278	△24.7%
協和発酵麒麟	871	1,148	△277	△24.2%
医薬	648	633	14	2.3%
バイオケミカル	201	177	23	13.4%
化学品 他	21	337	△316	△93.7%
その他・内部取引消去	△22	△21	△0	—
その他	224	240	△15	△6.4%

※ キリンビールと麒麟ビールマーケティングの合算値

<参考> 酒税抜売上高

(単位：億円)

	2012年 第1四半期 (実績)	2011年 第1四半期 (実績)
麒麟ビール	896	879

3. 利益増減明細

(1) 営業利益

(単位：億円)

	2012年 第1四半期 (実績)	2011年 第1四半期 (実績)	対前年増減
営業利益	253	329	△76
国内酒類	43	50	△7
キリンビール	60	73	△12
マネジメントフィ等	△24	△23	△0
計	36	49	△13
メルシャン	2	0	2
マネジメントフィ等	△1	△1	0
計	1	△0	2
その他	6	1	4
国内飲料	△39	△19	△19
キリンビバレッジ	△24	△4	△20
マネジメントフィ等	△7	△7	△0
のれん償却額	△4	△4	—
計	△37	△17	△20
その他	△1	△2	1
海外酒類・飲料	65	62	3
ライオン（連結組替後）	163	144	18
のれん償却額	△61	△62	0
ブランド償却費	△9	△21	12
計	92	60	32
スキンカリオール	△0	—	△0
のれん償却額	△25	—	△25
計	△26	—	△26
その他	△0	2	△2
医薬・バイオケミカル	187	226	△39
協和発酵キリン（連結組替後）	187	226	△39
医薬	166	184	△17
バイオケミカル	13	12	0
化学品 他	0	22	△22
のれん償却額消去	23	23	△0
のれん償却額	△15	△15	0
その他	4	15	△11
全社費用・セグメント間取引消去	△9	△5	△3

マネジメントフィ等：キリンホールディングスへのグループ経営の対価・K I R I Nブランドの使用対価

主な営業利益増減内容

(単位：億円)

会社名	要因	対前年増減	内容
麒麟ビール	酒類限界利益増	6	ビール販売数量増 0千kl 0億 発泡酒販売数量減 △3千kl △3億 新ジャンル販売数量増 10千kl 11億 RTD販売数量増 4千kl 3億 品種構成による差異 他
	原材料コストダウン	2	麦芽価格安 2億 他
	販売費増	△27	販売促進費・広告費増 △32億 他 (ビール・発泡酒・新ジャンル △18億、RTD △13億 他)
	その他費用減	6	人件費減 3億、減価償却費減 3億、 情報システム費減 5億 昨年度東日本大震災関連損失振替額 △6億 他
計		△13	
麒麟ビバレッジ	数量差異	22	国内販売数量増 207万ケース
	コストアップ	△0	原材料コストアップ △6億、原材料コストダウン 5億
	容器構成差異等	△10	
	販売費増	△41	販売促進費・広告費増 △40億、運搬費増 △2億
	その他費用減	9	減価償却費減 2億、雑費減 2億、販売機器費減 1億 他
計		△20	

主な営業費用

(単位：億円)

		2012年 第1四半期 (実績)	2011年 第1四半期 (実績)
販売促進費		401	302
広告費		195	157
麒麟ビール	販売促進費・広告費	190	159
麒麟ビバレッジ	販売促進費・広告費	232	195
研究開発費		134	131
協和発酵キリン (内部取引除く)		109	106

(2) 経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	2012年 第1四半期 (実績)	2011年 第1四半期 (実績)	対前年増減	増減内容
営業外損益	△61	△35	△25	現地持分損益 23億 他 現地持分損益 12億 のれん償却額 △3億 キリンアムジェン △26億 他
金融収支	△41	△32	△8	
持分法による投資損益	△28	△4	△24	
サンミゲルビール	10	△13	24	
フレイザー・アンド・ニーヴ	8	—	8	
その他	△48	8	△57	
為替差損益	16	6	9	
その他	△7	△5	△1	
経常利益	192	293	△101	
特別損益	△12	△31	18	
特別利益	6	119	△113	
固定資産売却益	5	39	△33	
投資有価証券売却益	0	2	△2	
関係会社株式売却益	—	67	△67	
その他	0	10	△10	
特別損失	△19	△151	131	
固定資産除却損	△4	△4	0	
固定資産売却損	△1	△1	0	
投資有価証券評価損	△0	△19	19	
投資有価証券売却損	△3	—	△3	
事業整理損失引当金繰入額	—	△35	35	
東日本大震災関連損失	—	△51	51	
事業構造改善費用	△9	△8	△0	
その他	△1	△29	28	
法人税等	△156	△216	60	
少数株主利益	△53	△67	13	
四半期純損失(△)	△30	△21	△9	

4. 連結貸借対照表サマリー

(単位：億円)

	2012年 第1四半期末	2011年 期末	増減額	増減内容
流動資産	7,557	7,580	△23	
現金及び預金	842	762	80	
受取手形及び売掛金	3,804	4,064	△259	・ 季節変動による売上高減少 他
棚卸資産	2,079	1,929	149	・ 季節変動及び在外子会社の為替 影響による増加 他
その他	830	824	6	
固定資産	21,439	20,961	477	
有形固定資産	7,626	7,638	△11	
無形固定資産	8,456	8,162	293	
のれん	7,406	7,137	269	・ 在外子会社の為替影響による増 加 他
その他	1,049	1,025	24	
投資その他の資産	5,356	5,160	195	・ キリンホールディングス保有株 式の株価変動による時価増加 他
資産合計	28,996	28,542	454	
流動負債	7,650	7,154	496	
支払手形及び買掛金	1,388	1,469	△80	
有利子負債	3,383	2,306	1,077	・ 社債の長短振替及びキリンホー ルディングスのCP発行による増 加 他
その他	2,878	3,378	△499	・ 季節変動による未払酒税の減少 他
固定負債	10,345	10,909	△564	
有利子負債	7,745	8,344	△599	・ 社債の長短振替による減少 他
その他	2,599	2,564	34	
負債合計	17,995	18,063	△67	
株主資本	9,664	9,820	△156	
その他の包括利益累計額	△602	△1,291	688	・ 豪ドル及びブラジルリアルに対 する円安による為替換算調整勘 定の増加 他
新株予約権	1	2	△1	
少数株主持分	1,938	1,947	△8	
純資産合計	11,000	10,478	521	
負債純資産合計	28,996	28,542	454	

5. その他情報

(1) 主要な上場連結会社損益 (連結組替後)

2012年第1四半期実績

<連結子会社>

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
協和発酵キリン	871	179	166	84	43
のれん償却額消去		23	23	23	12
のれん償却額		△15	△15	△15	△15
連結取込計	871	187	173	92	40

<持分法適用関連会社>

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
サンミゲルビール	358	105	88	61	29
現地持分損益			29	29	29
ブランド償却費			△3	△3	△3
のれん償却額			△14	△14	△14
連結取込計			10	10	10

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
フレイザー・アンド・ニーヴ	826	152	145	85	12
現地持分損益			12	12	12
のれん償却額			△3	△3	△3
連結取込計			8	8	8

(2) 主要事業会社 売上明細

① キリンビール

	2012年 第1四半期		2011年 第1四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
売上数量	千KL	%	千KL	%
ビール	132	0.2	131	△8.1
発泡酒	116	△2.3	119	△13.2
新ジャンル	144	7.5	134	△5.9
計	393	2.0	385	△9.0
RTD	43	9.3	39	△8.2
清涼発泡飲料	9	△11.0	10	△10.9
売上高	億円	%	億円	%
ビール	544	0.6	540	△8.0
発泡酒	355	△2.4	364	△13.2
新ジャンル	378	7.2	353	△6.0
計	1,277	1.6	1,258	△9.0
RTD	119	9.4	109	△8.1
焼酎・洋酒・その他 ※	106	△5.3	112	△9.8
売上高計	1,503	1.6	1,479	△9.0

上記売上数量、売上高には輸出分を含む

※ グループ会社への清涼飲料売上高を含む

② キリンビバレッジグループ

<カテゴリー別販売実績（連結）>

清涼飲料			2012年 第 1 四半期				2011年 第 1 四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
カテゴリー別	茶系飲料	日本茶	428	12	44	111	384	11	△25	94
		烏龍茶	59	1	△2	97	61	2	0	100
		紅茶	974	26	△16	98	990	28	43	105
		計	1,461	39	26	102	1,435	41	18	101
	コーヒー飲料		707	19	△12	98	719	21	△69	91
	果実・野菜飲料		444	12	32	108	412	12	21	105
	炭酸飲料		142	4	28	125	114	3	△9	93
	水		729	20	125	121	604	17	14	102
	その他		225	6	8	104	217	6	△53	80
国内市場清涼飲料計			3,708	100	207	106	3,501	100	△78	98

<容器別販売実績（連結）>

清涼飲料			2012年 第 1 四半期				2011年 第 1 四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
容器別	区分	内訳	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
缶容器	缶	ボトル缶を含む	928	25	△26	97	954	27	△93	91
PET容器	大型PET	2 L	819	22	222	137	597	17	28	105
		1.5L、1L、 900ml、750ml	299	8	△19	94	318	9	8	103
		大型PET計	1, 118	30	203	122	915	26	36	104
	小型PET	500ml	875	24	10	101	865	25	11	101
		350ml以下	404	11	23	106	381	11	1	100
		小型PET計	1, 279	35	33	103	1, 246	36	12	101
	PET計	2, 397	65	236	111	2, 161	62	48	102	
その他容器	ワンウェイ・リターナブル壺、 紙、ギフト 他		383	10	△3	99	386	11	△33	92
国内市場清涼飲料計			3, 708	100	207	106	3, 501	100	△78	98

③ 協和発酵キリン

売上高		2012年 第1四半期		2011年 第1四半期	
		実績	前年比	実績	前年比
領域	主要製品名	億円	%	億円	%
腎	ネスプ	138	116	119	154
	エスポー	9	72	13	51
	(ネスプ／エスポー)	(148)	(111)	(133)	(130)
	レグパラ	28	112	25	129
免疫・アレルギー	アレロック	99	72	137	168
	パタノール	54	74	73	204
がん	グラン	29	89	33	99
循環器系	コニール	42	90	46	97